



豊かな人間性と未来を創る
力を育てる教育をめざして

第144号 令和2年(2020年)
8月1日発行

大田区教育委員会広報



©大田区

おおたの教育

発行 / 大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

今号の主な内容

- 1面 コロナウイルス禍をこえて、新たな教育の創出を・学校でできる感染予防
- 2面 家庭での過ごし方
家庭教育コラム

コロナウイルス禍をこえて、新たな教育の創出を

大田区教育委員会教育長 小黒仁史



コロナウイルス感染拡大による臨時休業後、感染防止に細心の注意を払いながら学校が再開されました。子どもたちにとって、学校生活を取り戻すことはとても大切なことでした。

また、ソーシャル・ディスタンスを取り、密着、密集を避けた教育活動は、従来の教育の在り方に大きな変容を迫るものでした。学校に集い、友達との信頼関係を築き、学びを深めてきた学校教育の在り方が問い直され、改善の具体的な工夫が続けられています。

教育基本法に定める教育の目的は、人格の完成と社会の形成者としての資質・能力の育成です。コロナウイルス禍により、人間のかかわり方、社会の在り方に変化が迫られています。物理的な距離を取りながらも、子どもたちの心の距離を縮めていくことなど、英知を結集して、未来社会の担い手となる子どもたちを育てていきたいと考えています。新たな教育環境を創出するために、教育関係者、保護者や地域の方々、全ての区民の方々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



学校でできる感染予防

学校では、校内の消毒や教室の換気、指導方法の見直しなど、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう感染防止対策に努めています。一人ひとりの行動が、自分の命を、家族を、大切な人を、社会を守ることに繋がります。安全安心な学校生活を送るために、子どもたちや、保護者の皆様の協力が必要不可欠です。

●こまめな手洗い

登校時や給食前後、外で活動した後、体育の授業後、外遊びの後、トイレ使用后、咳やくしゃみ・鼻をかんだ後、教材を共用した後など、こまめに手を洗います。手洗いは十分に時間をかけて、水と石けんで丁寧に洗います。洗い終わったら、清潔なハンカチやタオルなどでよくふき取って乾かします。ハンカチ等は自分のものを使い、共用はしません。



●咳エチケットの徹底

マスクを着用するようにします。咳・くしゃみをする際、マスクがないときは、ティッシュやハンカチで、とっさの時は袖で口・鼻を覆うようにします。



●3つの「密」を避ける

- ・換気の悪い「密閉」空間
- ・多数が集まる「密集」場所
- ・間近で会話や発声をする「密接」場面

という3つの条件が重なる場で、集団感染のリスクが高まるとされています。3つの密が重ならない場合でも、できる限り「ゼロ密」を目指すことが望めます。

●規則正しい生活習慣

感染症に対する抵抗力を高めるため、家庭においても十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事を心掛けることが重要です。

問合先 学務課保健給食係
TEL : 5744-1431 FAX : 5744-1536

コロナウイルスの理解

「新型コロナウイルス」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」や「中東呼吸器症候群 (MERS)」ウイルスがあります。

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

●「飛沫感染」とは

感染者の飛沫 (くしゃみ、咳、つばなど) と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。マスクを着用して口や鼻を覆うことで飛沫が飛ぶのを防ぐことができます。



●「接触感染」とは

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染します。接触感染を予防するには正しい手洗いが効果的です。

問合先 学務課保健給食係 TEL : 5744-1431 FAX : 5744-1536

偏見や差別、いじめを生まないために

新型コロナウイルス感染症は、深刻な健康上の問題を引き起こすことから、私たちは強い不安を感じることがあります。このような感情は、ウイルスへの嫌悪感を特定の人、地域、職業などへの嫌悪感に替え、差別し遠ざけようとする心理を生み出すと言われています。ウイルスに感染しないための習慣だけでなく、いじめや差別をしないために、正しい情報を基に冷静に考え、自分の言葉や振る舞いに気を付ける習慣も大切です。



問合先 指導課指導主事 TEL : 5744-1435 FAX : 5744-1665

困ったときは相談してみましょう

▽小中学生のさまざまな問題や悩みについての相談
(性格・行動、発達、学習、いじめ・不登校など)
教育センター TEL 5748-1201
(池上1-32-8)
平日 : 9:00~19:00
土・日曜 : 9:00~17:00
※祝祭日除く

▽子育てに悩んだとき
子ども家庭支援センター(キッズな大森)
TEL 5753-7830
(大森北4-16-5)
平日 : 9:00~18:00
土曜 : 10:00~18:00
※日曜、祝祭日除く

家庭での過ごし方

体力向上

スポーツ庁のホームページ (https://www.mext.go.jp/sports/content/20200122-spt_sseisaku01-000002649_1.pdf) で紹介されている「手軽にできる!ながらできる?! My スポーツメニュー〜みんなも一緒に動こうよ〜」のなかから、家庭でテレビなどを見たりしながらできる「ブックサンドコアトレーニング ~コア・ももの筋力を強化~」を紹介します。

【実施方法】

- ① 椅子に座り、座面をしっかり持って腰掛け、本(タオルでも可)をひざの間に挟み、足首をクロスさせます。
- ② そのままの状態、ひざを10cmほど上げ下げします。
- ③ 脚の上げ下げを1セットとして、10セット実施してください。

【ポイント】

- 息を吐きながらひざを引き上げ、息を吸いながら戻しましょう。
- ひざの角度は股関節よりも上げましょう。
- 内側に締めることを意識すると、骨盤底筋をより効果的にトレーニングできます。
- 脚に挟むものは、硬くて重いほうがトレーニング効果が高まります。



【問合せ】 指導課指導主事
TEL : 5744-1435 FAX : 5744-1665

学ぶ意欲を高めるポイント!

【学習に「見える化」を!】

学習は毎日繰り返し、少しずつ取り組むことで定着していきますが、同じことの繰り返しだけでは途中で飽きてしまったり、「できるようになって嬉しい!」という実感をもち辛かったりすることが想定されます。「自分がどのくらい頑張ったのか」「自分にどのくらい力が付いたか」を実感できるようにするには、一目で分かるように「見える化」すると効果的です。例えば、

- ① 模造紙等の大きな紙を用意して、学習内容を直接書き込む。
- ② A4等の紙に書いた内容を、大きな紙に貼り付ける。
- ③ A3等の大き目の紙を用意し、どこに何を書くか決めて書き込む。

こうした工夫によって自分の学びを眺める時間をつくることで、自分の成長が分かりやすくなります。ノートに学習した内容をデジタルカメラ等で撮影し、パソコン等で画像を並べる方法もあります。また、「こんなに頑張った!」という達成感も得やすくなりますし、「よくできました!」と思うことも書いておくと、次への励みにもなります。漢字・計算から調べ学習まで広く応用できますので、自分の学びを「見える化」し、さらに広げてみてはいかがでしょうか。



【問合せ】 指導課指導主事 TEL : 5744-1435 FAX : 5744-1665

家庭教育コラム ついつい子どもを怒鳴ってしまいます…

明治大学教授 諸富 祥彦

新型コロナウイルスの影響で、外出自粛、在宅ワークなど、子どもと過ごす時間が増えていると思います。毎日の子育ての中で、つい厳しく叱りすぎたり、大きな声で怒鳴ってしまうこともあるかもしれません。「この子をちゃんとした子に育てなくては」「ちゃんとしたしつけをしなくては」という親としての責任感があるから、叱りすぎたり、怒鳴ってしまったのです。

しかし、厳しく叱りすぎてしまうと、心に一生残る傷がついてしまいます。実際、お母さんから「私、叱り始めると、つい止まらなくなってしまう、大きな声で怒鳴ってしまうこともあります。もしかしら、虐待では?と思うこともあって」と相談を受けることも少なくありません。

最悪はクセになった暴力です。愛のムチ、という言葉をよく耳にします。「子どものためを思っておこなった平手打ちなら、それは教育上意味がある」という考え方です。

けれど、多くの子どもにとって、暴力は、ただイヤな思い出でしかありません。特に説明なく、いきなり殴られた時子どもは傷つき、やる気を失います。

“怒鳴る、のもそうです。大きな声で怒鳴り続けて威嚇するのは、”心理的な暴力、です。

こんな時、子どもの心の中に、親に対する不信感が生まれます。「親にとって、自分は、ただ面倒くさいだけなんだな」と感じてしまうのです。

こうやって身に付けた不信感はかなり根深いものがあり、その後、親の言うことを素

直に聞くことができなくなってしまいます。

また、繰り返し、怒鳴り続けられた子どもは、自己肯定感が低くなってしまいがちです。「どうせ僕なんか」「どうせ私なんか」と、人生全体に対して、なげやりになってしまいます。

機嫌が悪い時に怒鳴るのもよくありません。仕事でめいっぱいしてストレスがたまっている時に、子どもにも厳しくあたってしまうこともあるでしょう。子どもはすっかりお見通し。カウンセラーをしている私のもとで、子どもたちはよく「昨日、父さん、機嫌悪くてさ」とこぼします。

イラっとしたら、5分でもいいので子どもから離れましょう。お子さんの安全をしっかり確保した上で、「トイレにこもる」「紙をちぎる」など、リフレッシュタイムを設けてみてください。そして、深呼吸をするなどして、気持ちを落ち着けましょう。気持ちが落ち着いたら、穏やかな声で話しかけましょう。

たとえば、いつも部屋を散らかしてしまう子には「何、また、散らかして!ダメな子ね!」と怒鳴るのではなく、「キレイに片付いたお部屋のほうが気持ちよく過ごせるよね。〇〇くんなら、できるよね!」と、信頼と期待の言葉がけをおこなうのです。その繰り返しで子どもの中に自己肯定感を育てます。粘り強く頑張る子になるのです。

【問合せ】 教育総務課教育地域推進担当
TEL : 5744-1447 FAX : 5744-1535



大森 海苔のふるさと館 夏の体験学習

<https://www.norimuseum.com/>

申込みは7月11日(土)9:00から、電話で受付(先着順)。定員に達した場合締め切りますので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、催しなどは中止・延期となる可能性があります。詳細はお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。

【申込・問合せ・会場】 大森 海苔のふるさと館 平和の森公園2-2 TEL 5471-0333 FAX 5471-0347

(「大森ふるさとの浜辺公園」と「平和の森公園」の間)

【主な交通手段】 ・平和島駅から徒歩15分
・大森駅から「平和島循環」バスで約20分、「平和島五丁目」下車徒歩3分



No.	開催日時	体験学習会名	内容	対象	定員	費用
①	8月10日(月・祝)13:00~15:30	フジツボを観察しよう	プラスチック板の仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べたりします。	小学3年生以上	10名	100円
②	8月15日(土)13:30~15:30	タベストリーをつくらう	海の仕事の結び方でタベストリー(壁掛け)を作ります。	小学3年生以上	10名	—
③	8月25日(火) a.9:30~11:00 b.13:30~15:00	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、水族館を作ります。	小学生以下 幼児は保護者同伴	各20名	—
④	8月30日(日)9:30~12:30	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集や観察を通して、海の生き物に親しみます。	小学3年生以上	10名	100円

表彰コーナー

第40回全国中学校スケート大会・フィギュアスケート競技

第1位

馬込東中学校
三浦 佳生

教育委員会定例会・臨時会の主な議題

- 令和2年第1回臨時会(3月2日(月)開催)
 - ・山王小学校隣に建設中の建物について
- 令和2年第3回定例会(3月26日(木)開催)
 - ・「学校における働き方改革推進プラン」の策定について
 - ・大田区教育委員会非常勤職員に関する規則 他16件
- 令和2年第4回定例会(5月28日(木)開催)
- 令和2年第5回定例会(6月29日(月)開催)
 - ・学校給食費徴収状況について
 - ・大田区教育委員会事務局処務規則 他2件

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①8月11日(火) ②9月17日(木) ③10月19日(月)
 - 時間 午後2時から
 - 場所 ①池上1-32-8 池上会館2階 集会室 ②・③蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
- ※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合せ先へご確認ください。
※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

【問合せ】 教育総務課庶務係 TEL : 5744-1422 FAX : 5744-1535